

今後の 学校教育について



問 これからの将来を担う児童・生徒にとつ

てどのような教育環境が望ましいのかを考える時期に
来ているのではないか。

以下について伺う。

①教育を受ける環境として
どのような学校が児童・生
徒にとって望ましいのか考
えを伺う。

②小規模校において複式学
級の児童の学力を伺う。ま
た、中学・高校等に進学し
た時の順応性を伺う。

③札内地区において宅地の
造成により、現在ある小学
校・中学校では通学が不便
であるという声が聞こえ
る。今後の対応を伺う。

④特色ある学校作りが今後
必要と考える。

小中一貫等、特色ある学
校作りの考えがあるか伺う。

新しい取り組みについて
議論したことがあるのか。

教職員の意識改革が必要
と思うが。

⑤教科、スポーツ、文化、

芸術活動など、学校によつ
て様々な取り組みをしてい
る。

児童・生徒自身が学びた
い学校を選択することが出
来るような考えはあるのか
伺う。

町内を一学区にする考え
はあるか。

⑥5年後、10年後の児童・
生徒数の予測を伺う。

またその上で、小学校・
中学校の今後の配置の計画
について考えを伺う。

検討する会議のありかた、
また、時期はいつか。

教育長

①大規模校では、

集団生活での態度が身につく
などのよさがあり、小規
模校では行き届いた目配り
ができるなどのよさがある
が、マイナス要素もそれぞ
れにあり、一概に子供の人
数で判断できるものではな
い。

各学校では生徒数、教員
数にあわせ、地域性や学校

周辺施設等の特性を生かし
た学校経営計画により、特
色ある授業を展開するなど
各校とも生徒にとつてより
良い環境で教育を受けるこ
とができる学校を作り上げ
ている。

②小規模校では少人数によ
るきめ細かで徹底した指導
が可能であり、確かな学力
が定着しやすい環境にある
が、子供たちの学力につい
ては複式校であるや否やを
問わず、全ての学校におい
て教育環境の整備に力を注
いでおり、学校規模の格差
はないと考える。

小規模校の進級進学は、
小規模ゆえ、集団生活や団
体行動が小振り、多人数
での交流などに不利な面も
あるが、小規模校同士が集
まる集合学習や、修学旅行
を合同開催するなどの工夫
をし、中学校への進学時
には、環境に慣れるまでの戸
惑いなどが多少あるが、子
供たちは早期に順応してい
る。

③区画整理事業で開発され
る、北栄地区の宅地造成は、
札内北小学校の通学区域だ
が、距離的に札内南小学校

のほうが近距離となる区域
もあり、通学区域の見直し
も必要となる。今後想定さ
れる課題を整理し、児童に
とつてより良い通学環境を
検討したい。

④教育委員会として特色あ
る学校づくりに対し助成を
6年前から進め、小中学校
での特色のある活動を支援
している。

途別小学校での水田づく
りや、札内南小学校と古舞
小学校、途別小学校の3校
がテストケースとして英語
活動を行っている。

これらの事業を通じ、学校
現場での教員の意識改革に
つながれらばと思う。

⑤現在、札内北小学校に通
学している児童に限り、札
内東中学校、札内中学校へ
の選択性を採用している。

それぞれの学校が特色を
生し、学校経営を進めてい
くことができれば、学校の
選択性も一つの目指す方向
になると思う。

⑥現在の未就学児の年齢別
集計によると平成19年度に
小学校に入学すると推計さ
れる児童数は256人で、
平成21年度までは横ばいで

推移するが、22年度は25
0人（マイナス3%）、23年
度は222人（マイナス13
%）、24年度は215人（マ
イナス16%）となっており、
その後も減少傾向は続くと
想定される。

今後の配置計画は、教育
関係者や、地域の方、保護
者の方の意見を伺う必要が
あり、また、子供たちの意
見も聞いてみたい。

時期については、組織作
りを今年中に立ち上げたい。



古舞小学校の国際理解教育